

鎌田 あれはあのままね。活用したらええんかいなって思いよんやけどね。わざわざああいっせつ作らんでもそのま昔ながらの雰囲気を生かしていききたいと思ってるんよな。

工藤 僕は小学校のときに映画館があって、ガメラ対ギョースとかを観に行っていましたね。それでトランプっていうお菓子があって、懐かしいでしょ。あれを買って映画を何本も観ましたね。怪獣映画ばかりです。

鎌田 首が三つある怪獣を置いとったり。
吉岡 キングギドラな(笑)ゴジラもおったよな。

鎌田 ほんでパン屋の裏やけんパンの耳ばかり茶色の紙袋のごつい袋に入れてね。それを映画館で食べる(笑)中学生くらいと思う。

吉岡 食べよったな。

市長 僕が生まれる全然前でですけど、山川町にも昔、町筋の方に映画館があったんです。当時の娯楽は映画だったんですね。

今、取り組んでいること

市長 そうしましたら、今取り組んでいることについていろいろお話を聞かせていただけたらと思います。

鎌田 連合会のことつながるんです

て残ったのが不況だったんです。徳島の方言ですもんね。「きーだー」そういう意味も込めた名前なんです。
鎌田 まだ知らん人多いけん。もっともっと宣伝していかんとな。

吉岡 情報発信やな。

工藤 そうですね(資料を手渡す)。これは不況の指定管理の今年の実施計画書なんですけど、さきほど鎌田さんも言われたように認知度が低いんです。どういう使い方ができるのか街の人は分かってないし当然知らないんです。ポケットパークもわかりで、イベントをして借りてもらえるんですけど、そういうことをPRしたいんです。イベントをいっぱい興したいこと。それは指定管理の中にないことですが、自主業務ということで自主活動もやっていこうと。例えばお魚市とか、ビアガーデンとか、産直市とか、昔々の鴨島とか、そういう映像を流しながらポケットパークでやれることをなんでもやっていこうと考えています。

市長 なるほど。パブリックビューイング的なことも。

工藤 そうです。やっぱりPRをすることが一番かなと思ひながら、僕たちが自立していけるように、まちづくり会社が儲けんでもええけどトントンで動けるように、露店商もキッチンカーもしたいんです。

が、まちかどコンサートは継続して行きたいと思っています。

市長 継続は力なりですね。

鎌田 指定管理(商店街連合会の駅前駐車場の管理)も2年目を迎えます。

できるだけ駐車場も活用していただきたい。コンサートの方は、独自でしていたのが10月から吉野川マルシェも始まって相乗効果がすごい。2000人3000人とか来ていただいてありがたいね。

市長 コロナもあって皆さんイベントなどに出かけられなかった時期もありましたが、楽しんでいただけているようです。

鎌田 連合会としても駐車場活用とかイベント広場を使って駅前の企画を考えていきたいと思ひます。音楽の方は登龍門ではないけど、プロから初めてするような人までダンスやパフォーミングをする場面なんでも、もっと宣伝してどんどん利用して世に出て行っていたらいいなって。ある意味僕もおやじバトルで優勝したんで恩返しでね、これから活動していきたい人のお手伝いできたかと思ひます。

市長 駅前のイベント広場はどうですか?使ひやすいですか?

鎌田 普段のコンサートだけならいい場所の問題ないんやけど、ダンスとか生徒さんが出ると人がすごい来るか

失敗するかも分かりませんがやるだけはやります。

市長 ポケットパークはスペースをちよつと借りて最近流行のキッチンカーや出店ができるようにあえて平地にした公園なんですけど、そういう活用方法を実際いろいろ示していただいたら市にもありがたいなと思ひます。ちよつと何かしてみようかなという人がここでお試して販売できる計画を練って実際外でやってみるみたいなね。そういう好循環の場になればいいなと。



▲ポケットパークでのイベントにて 工藤氏(左)と吉岡氏(右)



▲まちかどコンサートで演奏する鎌田氏

ら。それでもマルシェとかのイベントと一緒にしていただきたいしね。贅沢な悩みですが、頑張りたいと思ひます。

吉岡 今まではまちづくり会社、マルシェもそうなんですけど、僕は基本的な子どもの笑顔を見続けたいという思いがあって、なぜかと言うと、今から20年ほど前、夏の花火大会の日、仕事を終え家に近づいたときに家の前でおばあさんと孫が花火を見よったんですよ。当然近所の方なので僕は車の窓を開けて「よろしいですね、こんな時間に花火をお孫さんと見られて」って何

気なく僕は声かけたんです。そしたらそのおばあさんから想像もできんかった声をかけていただいて「今年もこんな時間作っていたらいいやろ」と言っています。そんなこと考えたことも思っただこともなかったんで、人の思いはこんなふうにつながっていくかなって、その日僕は眠れんくらいに感じて、自分が頑張るモチベーションに当然なるんですけどね。まちづくり会社もそうなんですけど、まちづくり人がつながることの大切さが基本にあって、駅前通りを賑やかにするっていうことは当然子どもの笑顔や市民につながっていくっていうことを教えられて、そんなことをしながら街を元気にできたらどんなにいいかと思うようになります。

それに工藤君と知り合うことができ、彼は素晴らしい発想力と動く力があるんです。ともやっていたら必ず元気にやっていけるんちゃうかなって考えています。

市長 まちづくり会社の不況(きーだ)の指定管理も4月から始まりまして、またいろいろお世話になります。

工藤 不況っていいフレーズですよ。もうPRとか情報発信とか全部それでいいかなと思ひます。

市長 この名前も当初できたときに名前の募集をしまして、最終候補とし

鎌田 吉野川マルシェの月1回とは別の日に、裏マルシェや裏まちかどみたいな2回目小さくてもいいから工夫しながらやっていきたいと考えています。

工藤 吉野川マルシェと別の週にやるとか決めてほしいんです。そういうところの話し合ひをさせてください。

鎌田 吉野川マルシェの日は自然と集まって来るからね。月1回やけどほんまは僕たちからしたら毎週、毎日賑わうことが最後目標なんよな。

工藤 それと1つちよつとお願ひなんですけど、ポケットパーク上の不況の西側通路に4メートル×10メートルくらいのスペースがあるんですけど、商工観光課の方にここにパノールとか置いて有効活用できませんかとお願ひしているんです。パノール置いてテーブルや椅子を置くだけで食べるスペースになるし、夕方、ビアガーデン的なことするとおしやれになると思ひます。

吉岡 ええよな。

市長 そちらは私の方からも担当と協議しておきますね。

今後、活性化に向けて取り組んでいきたいこと
市長 最後に、今後取り組んでいきたいことそれぞれ頭の中に浮かぶことが

あればお話を聞かせてもらえたらと思ひます。

鎌田 駅も不況も綺麗になったんですが、アーケードが夜の8時になったら真っ暗で、1つはアーケードの改装をね。今年度から来年度くらいにLEDにするだけじゃなくて、鴨島駅前に来てロータリーからポケットパークまでおしやれに繋ぐような計画をみんな立てていきたいと考えています。防災拠点も含めて。

2つめは、「いま、どこぞ空いとるとこないで?店するところないで?」って聞いてもいつも「分かんない、聞いてこないかん」となるから、鴨島駅前でお店を開きたい人がいたら、どこに開いても空き店舗の状況が分かるようにデータ化したいと思ひます。

最後は僕の思いだけなんですけど、曾我廻家五九郎です。曾我廻家五九郎を主人公としてドラマでとりあげたいだろ、幼少の頃の年に鴨島も出てくるだろうし、鴨島の年に1回の祭りだけじゃなくて、もっと幅広く知ってもらいたい。その3点です。

市長 わかりました。ありがとうございます。それでは、吉岡さんは今後やってみたいことか構想があれば。

吉岡 今、鎌田さんからもあったように、とにかく中央通りを明るくしたいんです。LED化をする中でいろんな